

株式会社 堀場製作所

2017年12月期 第2四半期決算説明

代表取締役会長兼社長 堀場 厚

代表取締役副社長 齊藤 壽一

2017年8月7日

(お知らせ)

堀場製作所 公式Facebookページを開設



社は「おもしろおかしく」を
モットーに、分析技術の
紹介やイベント情報など、
幅広く発信してまいります



統合報告書「HORIBA Report 2016」を発行



事業・財務情報と共に、
当社の持つ
「見えない資産」について
まとめています



説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス

※本プレゼンテーションにおける2015年の実績は、2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値を記載しております。

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス

2017年上期の振り返り

外部環境

- ◆ トランプ政権発足
- ◆ 英国EU離脱通告→英国総選挙
- ◆ フランス大統領選挙→日欧EPA大枠合意
- ◆ 半導体業界活況
- ◆ 自動運転、電動化、排ガス規制

内部状況

- ◆ 新拠点・設備開設(米国、英国、韓国)
- ◆ 上場来高値更新、時価総額3,000億円突破
- ◆ 働き方改革

2017年12月期 上期決算概要

上期過去最高の売上高、営業利益、当期純利益を更新

P&L

◆自動車と半導体セグメントが前年同期比増収増益を達成

B/S

◆総資産は設備投資により+40億円の2,436億円

◆借入金金融子会社設立(米・英)により▲49億円の267億円

◆自己資本比率は56.7%

CF

◆利益計上などにより、営業CF: +162億円
◆設備投資などにより、投資CF: ▲68億円
◆短期借入金の返済などにより、財務CF: ▲71億円

フリーCF: +94億円

2017年12月期 上期連結実績

(単位:億円)

	2016年上期	2017年上期			
	実績	前回予想 (5/12)	実績	vs前年同期	vs前回予想 (5/12)
★: 過去最高					
売上高	799	875	★ 873	+73	▲ 1
営業利益	77	100	★ 97	+19	▲ 2
営業利益率	9.7%	11.4%	11.1%	+1.4p	▲0.3p
経常利益	75	97	★ 95	+19	▲ 1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	61	★ 64	+23	+3
USD(円)	111.70	110.00	112.34	+0.64	+2.34
ユーロ(円)	124.52	120.00	121.66	▲ 2.86	+1.66

2017年12月期 上期連結実績(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高					営業利益				
	2016年 上期	2017年上期				2016年 上期	2017年上期			
	実績	前回予想 (5/12)	実績	VS 前年 同期	VS 前回 予想 (5/12)	実績	前回予想 (5/12)	実績	VS 前年 同期	VS 前回 予想 (5/12)
自動車	281	320	★306	+24	▲ 13	5	22	21	+16	▲ 0
環境	77	80	80	+2	+0	8	4	3	▲ 5	▲ 0
医用	138	120	123	▲ 14	+3	15	10	8	▲ 7	▲ 1
半導体	178	240	★247	+68	+7	44	65	★67	+23	+2
科学	123	115	115	▲ 8	+0	2	▲ 1	▲ 4	▲ 7	▲ 3
合計	799	875	★873	+73	▲ 1	77	100	★97	+19	▲ 2

★: 過去最高

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- **2017年12月期 通期 業績予想**
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス

2017年市場環境の想定

自動車



欧州、日本での排ガス規制強化により、
国内外自動車メーカー、部品メーカーの投資意欲は旺盛

環境



中国での環境規制強化
半導体工場増設で水処理設備もチャンス拡大

医用



国内：開業医市場の需要は堅調
海外：欧州や南米での需要減少

半導体



半導体メーカーの設備投資は堅調に推移
3D-NAND需要増加に伴うエッチング装置の需要増加

科学



先進国での研究関連の予算減少
光学部品の民間需要は堅調

2017年想定為替レート

(単位:円)

	2016年 上期	2017年					
	実績	実績				今回予想	下期 予想
		前回予想 (5/12)	1Q	2Q	上期		
USドル	111.70	110	113.60	111.08	112.34	110	107
ユーロ	124.52	120	121.05	122.27	121.66	120	118

2017年:1円円高による営業減益額(通期)

USドル 1億6,200万円

ユーロ 2,800万円

2017年12月期 通期業績予想

(単位:億円)

	2016年	2017年		
	実績	前回予想 (5/12)	今回予想	vs前回予想 (5/12)
売上高	1,700	1,830	★ 1,870	+40
営業利益	184	210	★ 220	+10
営業利益率	10.9%	11.5%	11.8%	+0.3p
経常利益	182	203	★ 213	+10
親会社株主に帰属する 当期純利益	129	136	★ 145	+9
一株利益(円)	308	322	344	+21
ROE	10.0%	9.9%	10.5%	+0.5%

★: 過去最高

2017年12月期 通期業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

★: 過去最高

	売上高				営業利益			
	2016年 実績	2017年 前回予想 (5/12)	2017年 今回予想	vs 前回予想 (5/12)	2016年 実績	2017年 前回予想 (5/12)	2017年 今回予想	vs 前回予想 (5/12)
自動車	622	690	★710	+20	35	52	57	+5
環境	167	180	★180	変更なし	15	11	11	変更なし
医用	265	250	250	変更なし	28	22	17	▲ 5
半導体	388	460	★480	+20	96	120	★130	+10
科学	257	250	250	変更なし	9	5	5	変更なし
合計	1,700	1,830	★1,870	+40	184	210	★220	+10

説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- **セグメント別詳細説明**
- 株主還元
- その他トピックス

自動車

2017年上期実績/2017年通期予想

(単位:億円)

2017年上期実績

- + 排ガス** 全世界での規制対応により販売増加
- + MCT** 自動車メーカーの設備投資回復による販売増加
- ECT** MIRA日本チーム設立による費用増加

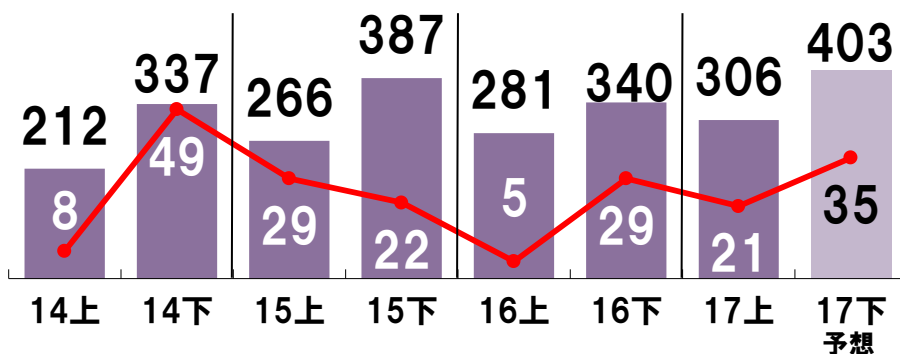
	2017年上期 売上高実績(前年実績)
排ガス	198 (183)
MCT	63 (50)
ITS	8 (7)
ECT	36 (39)

2017年通期予想

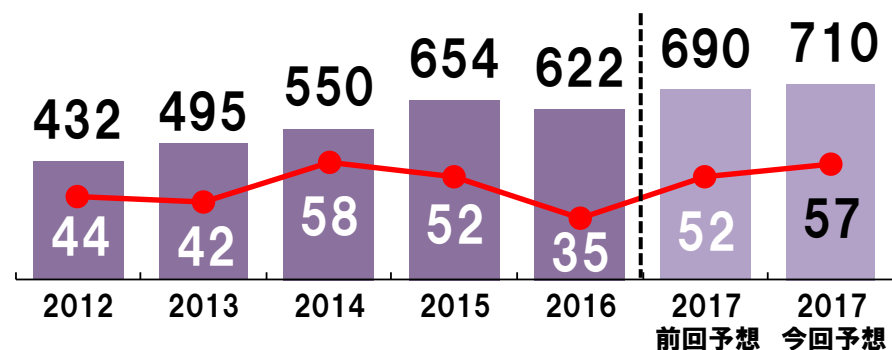
- + 排ガス** 規制対応需要が継続
- + MCT** 受注案件の確実なデリバリーを実現し、増収
- ECT** 積極投資による受注拡大も、収益効果は翌年以降

	2017年通期 売上高予想(前年実績)
排ガス	440 (401)
MCT	180 (132)
ITS	20 (16)
ECT	70 (71)

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ● 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益



自動車 次世代排ガス規制への対応

(単位:億円)

排ガスビジネス:次世代排ガス規制への取り組み

WLTP^{※1}(国連提唱の世界統一排ガス試験法) <売上高・受注残推移>

➡ EUで2017年9月開始、
日本では2018年10月開始予定

RDE規制^{※2}(実路排ガス規制)

➡ WLTPと同じくEUで2017年9月開始、
日本では2022年開始予定

※1 Worldwide harmonized Light vehicles Test Procedure

※2 Real Driving Emission



先進的排ガス試験設備(Advanced Emissions Test Centre : AETC)開設

稼働日:2017年7月5日

場 所:英国・ホリバMIRA社敷地内

機 能:最新排ガス試験設備

➢室内での実路走行再現

➢温度変化や高地シミュレーション

狙 い:RDE規制に関するビジネス強化

外観



試験設備



自動車 電動化・自動運転技術開発への貢献

(単位:億円)

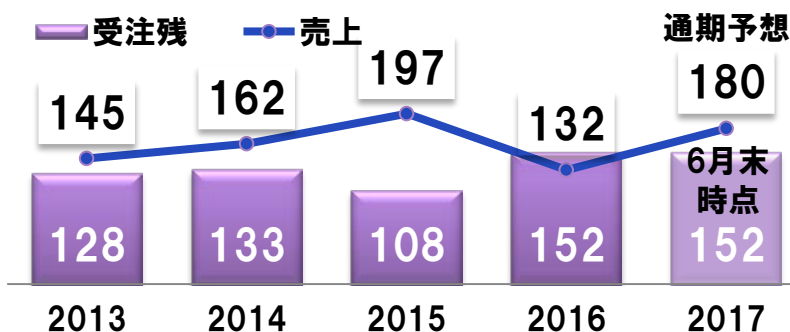
MCTビジネス:電動化への対応

2017年は販売増により収益性改善

- 自動車メーカーの設備投資回復
- ターンキービジネス※拡大で受注確保

※エンジン排ガス測定装置と自動車試験装置を融合させた
総合提案型のビジネスモデル

<売上高・受注残推移>



HORIBAのビジネス領域

- 駆動系・電気モーターなどの単体システムから
実車評価までカバーする柔軟なシステムを提供

電気モーター試験設備



電気自動車の試験



- ➡ ホリバMIRA社でのバッテリー制御システムの
評価設備拡充など、ビジネス領域を拡大

ECTビジネス:ホリバMIRA社、自動運転試験場の設計に参画

- ハンガリー政府が建設する自動運転試験場(同国初)
の設計を、現地企業と連携
- 自動運転技術の開発支援領域での地位確立

調印式の様子



自動運転技術



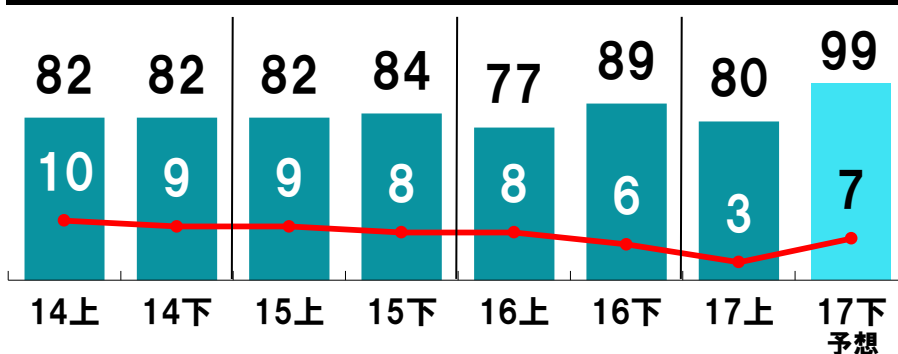
2017年上期実績

- + 煙道排ガス分析装置は、国内:リブレース需要堅調、中国:VOC規制で販売堅調
- + 国内水質計測装置の需要堅調も、販売は想定より伸びず

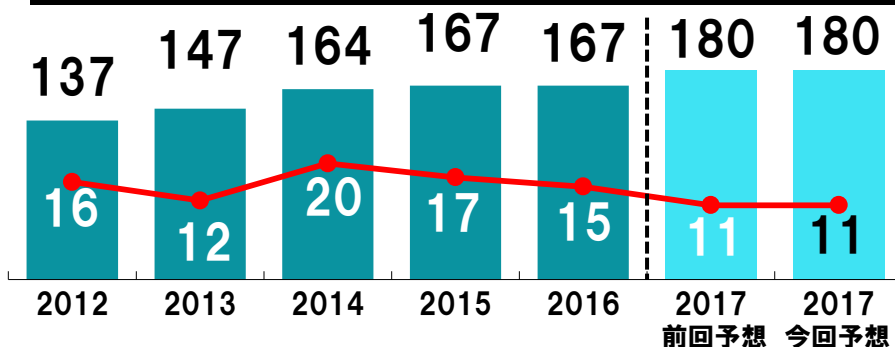
2017年通期予想

- + 煙道排ガス分析装置 ➡ 国内でのリブレース需要の確実な取り込み
- + 中国のVOC規制 ➡ さらなる需要拡大に期待
- + 北米のプロセス計測設備ビジネスは引き合い活発だが、販売低調

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ▲ 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ▲ 営業利益



環境

グローバルでのビジネス強化

プロセス計測設備ビジネスへの投資：ヒューストン新工場完成

稼働日：2017年4月1日

場所：米国テキサス州ヒューストン

機能：環境計測機器・プロセス計測設備の生産
科学・医用関連のサンプル試験

狙い：生産能力強化によるビジネス拡大

外観



アナライザーハウス※



※分析計、サンプリング装置を組み込んだシェルター。各プロセスにおける計測機器をシステム化し、お客様に一括で提供

水質計測ビジネスの拡大

アンモニア態窒素計「HC-200NH」

- 東京都下水道局との共同研究を経て2016年発売
- アンモニア態窒素濃度の常時計測により、下水処理電力削減に貢献

HC-200NH



海外の大規模下水処理場へビジネス拡大

2017年1月より水計測リソースを
堀場アドバンスドテクノに集約

- 開発・生産のスピードアップ
 - ➡ 新製品投入の加速
- マーケティング機能の強化
 - ➡ 半導体メーカーへの環境製品アプローチ

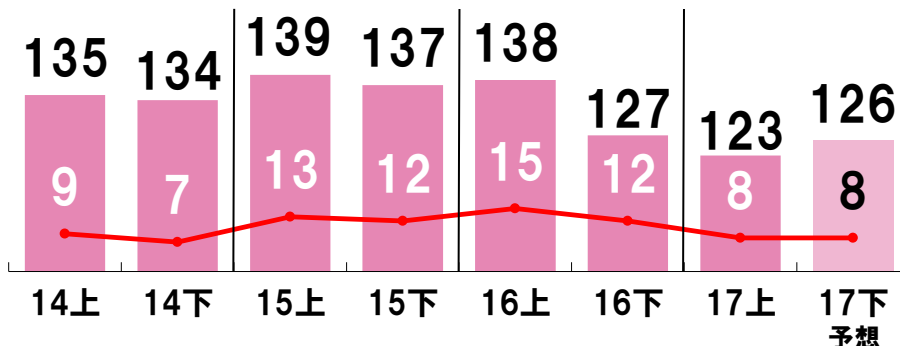
2017年上期実績

- + 日本での自動血球計数CRP測定装置の販促強化による費用増加
- + 欧州・南米での販売減、フランスからの新製品投入も効果は2018年以降

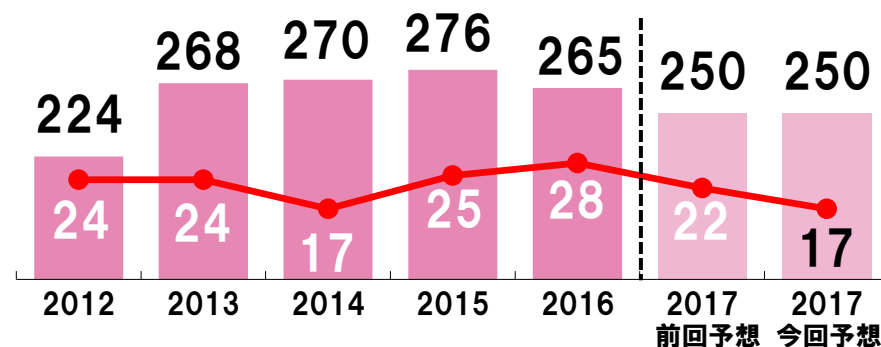
2017年通期予想

- 日本での自動血球計数CRP測定装置の競争激化
- + 新製品投入による米国FDA承認取得費用、販売促進費用の増加

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ● 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益



中・大型血球計数分野での新製品 “HELO Solution”

◆ 新製品の強み

- 柔軟なレイアウト対応
- 診療データ管理システムを含めたトータルソリューションを提案

◆ 製品展開スケジュール

- 2017年2Qからグローバル展開
- ブラジル、英、仏で据付開始

新製品 HELO Solution
(2017年発売)



ブラジルでの顧客ラボ
据付完成予定図



新興国向け新製品 “Yumizen H550”

◆ 新製品の強み

- 自動装填装置付小型血球計数装置
- 様々な環境でも安定した精度の高い測定

◆ 製品展開を支える販売・生産基盤

- HORIBAのグローバルネットワークを活用
- 大量消費地での試薬(消耗品)の現地生産



Yumizen H500
(2016年発売)



新製品 Yumizen H550
(2017年発売)

半導体

2017年上期実績/2017年通期予想

(単位:億円)

2017年上期実績

- ⊕ 売上高・営業利益ともに過去最高
 - アジアでの半導体投資増加
 - 3D-NANDプロセスでのエッチャー需要増加
- ⊕ マスフローコントローラー(MFC)の生産量は過去最高水準

2017年通期予想

- ⊕ 半導体メーカーの設備投資需要は堅調
- ⊕ 引き続き高水準なMFCの生産量

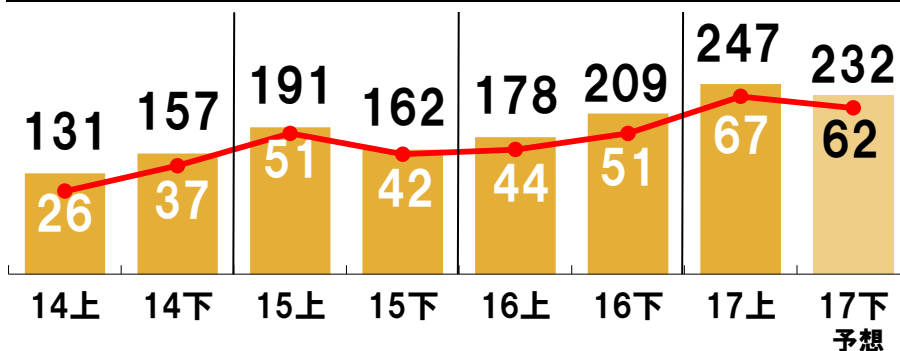
半導体市況及び
MFC関連市場トピックス

- データセンターのメモリー移行
⇒半導体需要の大幅増加
- 半導体製造技術の変化
(微細化、3D-NAND、多層化)
⇒エッチング需要の拡大

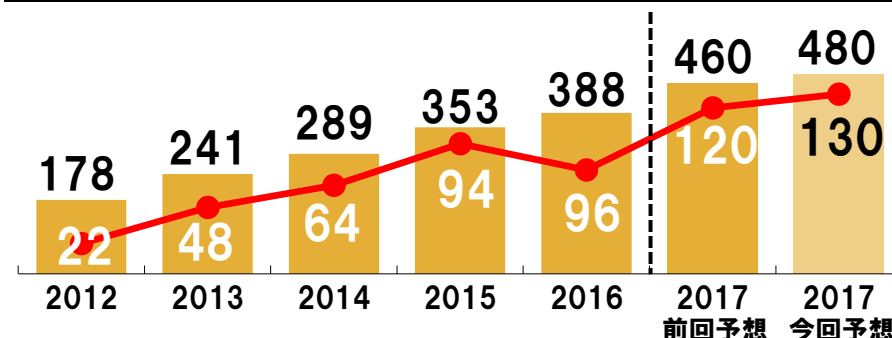
HORIBAの強み

高精度なMFCを安定供給できる
ビジネスポートフォリオ

売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ● 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益



半導体 さらなる安定供給の実現

生産拠点への投資(阿蘇・韓国)

◆ 堀場エステック阿蘇工場増設

金額 : 約27億円 / 完成 : 2017年12月(予定)

狙い : MFCの生産能力拡大(延床面積約1.5倍)

◆ 堀場エステック・コリア社 新社屋開設

稼働日: 2017年4月1日 / 場所: 韓国ヨンイン市(ソウル郊外)

狙い: 生産能力強化、エンジニア増員、教育施設の増強



堀場エステック阿蘇工場工事状況



堀場エステック・コリア社新社屋

半導体市場の動向

半導体メーカーの
投資コントロール

シリコンサイクル縮小

市場安定化へ

品質精度向上に向けた取り組み

◆ ガス校正に関するISO/IEC 17025※認定取得

➢ 堀場エステック京都福知山テクノロジーセンター

➢ 校正するための測定システムを自社開発

= より高精度なMFCの安定供給へ

※ISO/IEC 17025…品質面における
運営システムの要求事項+試験・校正
実施に必要な技術管理の要求事項



堀場エステック
京都福知山テクノロジーセンター

◆ 半導体デバイスメーカーと次世代半導体プロセスにおける材料開発

2017年上期実績

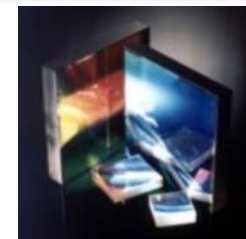
- ⊕ 米、欧にて分光分析装置のコア部品の販売が好調
- ⊖ 日、米、欧にて大学向け製品販売が低調 ⇔ ⊕ 中国向け好調
- ⊕ ⊖ 新製品投入に向けて開発費用増加

2017年通期予想

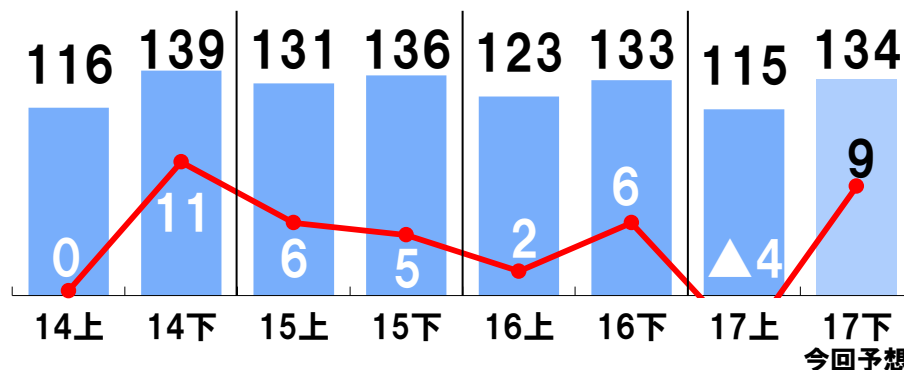
- ⊕ 分光分析装置のコア部品販売は堅調に推移
- ⊖ 日、米、欧にて大学向け製品の需要低調
- ⊕ お客様のニーズに合わせた製品カスタマイズによる新規市場開拓

グレーティング（回折格子）

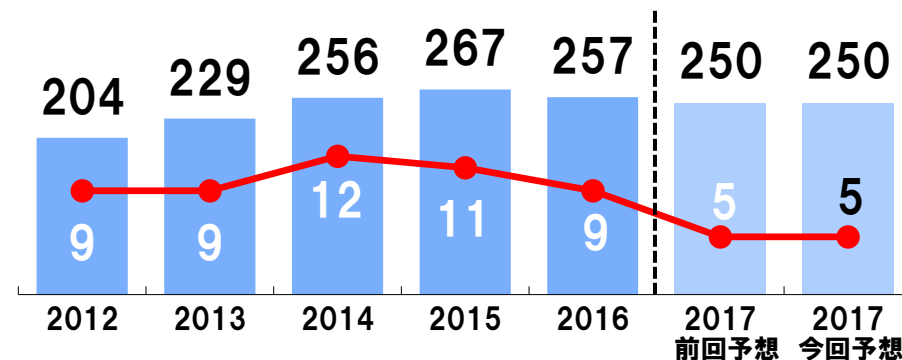
- ・分光分析装置のコア部品
- ・世界トップレベルの技術



売上高・営業利益推移(半期) ■ 売上高 ● 営業利益



売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 ● 営業利益

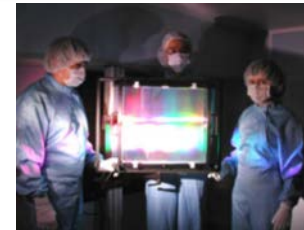


科学

HORIBAの技術を支える科学セグメント

フランス発のコア技術「グレーティング(回折格子)」

- ◆ 高強度レーザー向け特殊グレーティングの需要増
- ◆ 半導体製造装置メーカー向け
グレーティングを組み入れた分光器の需要増



特殊グレーティング



分光器

ホリバ・フランス社(旧ホリバ・ジョバンイボン社)

- ◆ グレーティングの量産技術を確立した分光分析装置の老舗メーカー
 - 1819年 創立 (2019年 創立200周年)
 - 1997年 HORIBAグループの一員に (統合20周年)

ホリバ・フランス社
ヨーロッパ・リサーチセンター(仏)

レーザー回折/散乱式粒子径分布測定装置が第9回レーザー学会産業賞「優秀賞」を受賞

- ◆ 国内産業の発展に貢献するレーザーに関係する製品・技術が受賞
 - 粒子にレーザー光を照射し、粒子サイズを求める装置
 - 電子部品・電池・食品・研磨剤・薬品など様々な分野の粉体の開発や品質向上のために使用



粒子径分布測定装置



説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- **株主還元**
- その他トピックス

株主還元政策

基本的な考え方

- 配当金 + 自己株式取得 = 連結純利益 × 30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&A等)

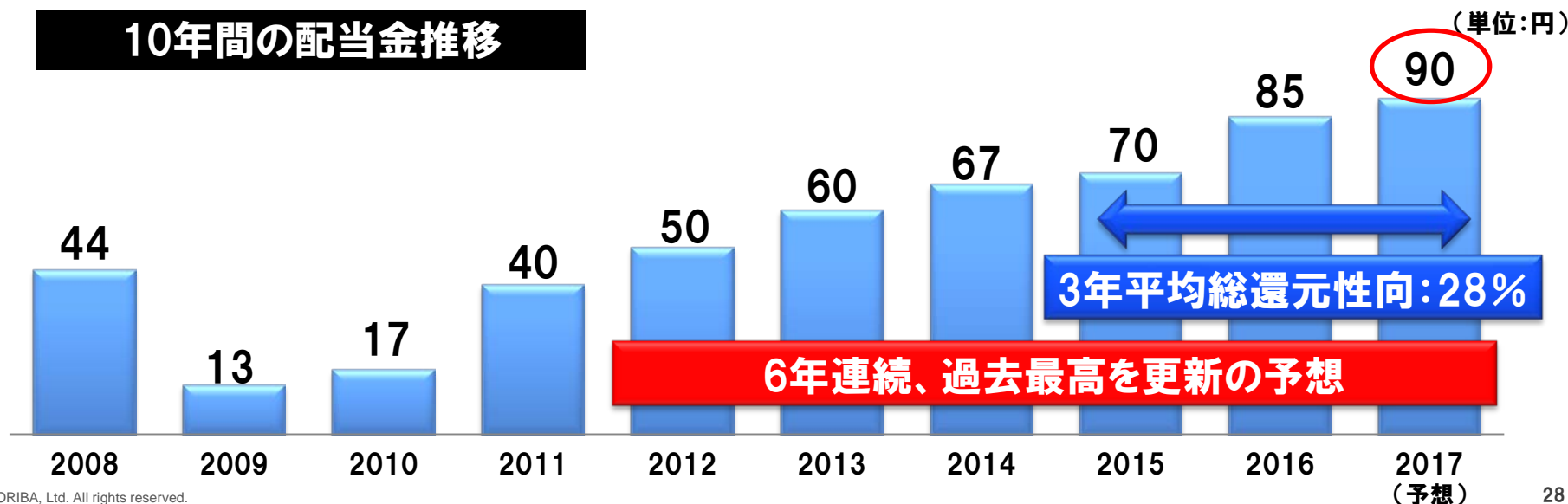
配当金及び自己株式の取得

2015年実績 70円 [中間 28円、期末 42円] + 自己株式取得(9.9億円)

2016年実績 85円 [中間 30円、期末 55円]

2017年予想 90円 [中間 40円、期末 50円] (前回予想から変更なし)

10年間の配当金推移



説明内容

- 2017年12月期 上期 決算概要
- 2017年12月期 通期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- 株主還元
- その他トピックス

働き方改革の実現に向けて

ステンドグラス・プロジェクトの取組み

STEP1
2014年

- 「女性活躍推進」からスタート

STEP2
2015年～

- 「働き方改革」ワークショップ開始
- テーマ「一人ひとりの行動変化」

STEP3
2016年～

- 経営・人事・現場をつなぐステンドグラス
- 現場・組織毎の特徴を生かす

カエル会議(2017年5月～)

- 111名・18チームが参加
- テーマ「業務の効率化」
「個人のスキルアップ」
- 70個のアイデアが登録



健康経営優良法人2017に認定

優良な健康経営を実践している企業等の法人を顕彰する制度
(経済産業省が認定制度を設計し、日本健康会議が制度運営)

HORIBA
評価ポイント

経営トップによる「“こころとからだの健康づくり”宣言」
組織横断的プロジェクトや担当部署が独創的な企画



JASIS 2017 にブース出展



JASIS（旧分析展）

分析機器分野のアジア最大級の展示会

主催：日本分析機器工業会、日本科学機器協会

HORIBAブーステーマ “Your Partner in Science”

「コア技術×アプリケーション×カスタマイズ提案」

製品・アプリケーション・エンジニアリング力を総合的に紹介



JASIS会場事前登録サイト

弊社ブースで投資家向けツアー開催

日時：9月8日（金） 10:15～10:45

場所：幕張メッセHORIBAブース内

概要：科学セグメントの製品紹介、直近の市場動向説明

説明：科学・半導体事業戦略室長（予定）

申込：参加希望の方は、メールにてご連絡ください。（定員：20名）

堀場製作所 経営管理部 IR広報・企画チーム 上杉
eita.uesugi@horiba.com

ご清聴ありがとうございました。